

大志を育む



平成 28 年 9 月 9 日

(教職員向け)
教育委員会だより

No. 6

発行：北広島市教育委員会

小中一貫教育「教育計画ワーキング・グループ研修会」報告

北広島市教育委員会 学校教育相談員 岩田 博明

夏休み中の8月1日(月)、北広島市小中一貫教育「教育計画ワーキング・グループ研修会」を、北広島市教育研究会との共催で、石狩教育研修センターにて開催しました。この研修会には、教頭、主幹教諭、教務主任に加え、各学校の状況に応じて生徒指導あるいは小中一貫教育担当者が参加し、合わせて54名で協議を行いました。

最初に主幹教諭から、北広島市が進める小中一貫教育のねらいや方針、具体的な取り組み、さらには小中一貫した教育計画づくりについての提言があり、その後、中学校区ごとにグループ討議をし、話し合った内容を代表者が発表し全体で確認しました。以下、当日の研修会の様子をお伝えします。

1. 主幹教諭による提言

(1) 提言 1 (内海、野澤主幹教諭)

「北広島市小中一貫教育推進方針案」の内容について

※小中一貫教育のねらい

学校・家庭・地域が一体となって「子どもの連続した学び」を支える体制を構築し、義務教育9年間で修了するに相応しい「生きる力」を育成する。

※6つの具体的な取組

- ① きめ細やかな学びの確立～学力・体力の向上、学習・運動習慣の定着、授業理解度の向上
- ② 人間性と自己有用感の育成～学習・生活規律の定着、学習・運動習慣の定着、豊かな人間関係・コミュニケーション能力の向上
- ③ 挑戦する心の醸成～大志を育む教育の充実、挑戦する心の育成、社会の一員としての自立、社会性の醸成・・・キャリア教育の充実
- ④ 特色ある教育活動の展開～乗り入れ授業など教科指導の充実、地域の良さを生かした教育活動、小中合同行事の充実
- ⑤ 地域との協働関係の強化～PTAの連携、小中一体となった地域行事参加と貢献、ふるさと意識の醸成
- ⑥ 教科・生徒指導力の向上～指導方法の改善と授業力の向上、小中の共通実践、授業交流・合同研修の充実・・・「**共通性**」・「**統一性**」・「**連続性**」・「**継続性**」

※3つの柱

- ① 「**学びをつなぐ**」・・・学力・体力向上を図る連続した学習活動の充実
*一貫した教育課程 *「スタンダード」と取組 *学習指導体制の工夫
- ② 「**大志をつなぐ**」・・・9年間で学ぶ「大志学」(キャリア教育)の充実
*「きたひろ夢ノート」 *地域の教育資源の活用 *9年間で学ぶ「大志学」
- ③ 「**人と人をつなぐ**」・・・児童生徒、教職員間、地域との交流活動の充実
*児童生徒間の多彩な交流活動 *地域との合同行事、貢献活動 *教職員の協働体制



(2) 提言2 (中村、遠山、赤井主幹教諭)

小中一貫した教育計画づくりについて

Point 1 ~教科における学習内容の系統性・関連の整理、重点化を図った指導計画の編成

⇒教科における指導計画の作成(系統表の作成、各種調査結果の分析と小中情報交流等)、指導体制の工夫(乗り入れ授業、小学校での教科担任制の実施等)

Point 2 ~学習方法の定着、学習・生活規律、習慣の確立(スタンダード)

⇒部活動見学、中学校入学説明会での授業参観、ノート指導・家庭学習・学習規律・授業の流れ等の小中学校で統一できるものを検討(中学校区スタンダードの確立と深化)

Point 3 ~児童生徒・教職員間・地域との交流活動の充実

⇒小中連絡会・入学後の情報交換会、研究授業の参観と事後研究会、中学校での授業体験、生徒会中心の学校説明会、合同児童・生徒会活動等

2. グループ討議の発表(中学校区ごと)

○話し合いの視点~すでに行われていること、今後できそうなこと

(1) 東部中学校区

- ①3校の研究テーマ、研修日の共有・調整
- ②スタンダードづくりと年度ごとの重点・共通指導項目の決定と実践
- ③課題設定・まとめなど、小中学校で目に見える取組の実践

(2) 西部中学校区

- ①小中9年間を見通した指導計画づくり~小中教科部会(NRT、指導内容の交流)
- ②夢ノートの中に体力テストの記録や「読書貯金」などを合体させて一つのファイルに
- ③小中合同研修会~年1, 2回特別支援教育について

(3) 大曲中学校区

- ①各校の実態に合わせた系統表の作成~NRT等の調査結果の分析⇒弱点と課題の可視化
- ②家庭学習の手引きを1冊にまとめる(形成期、充実期、成熟期に分ける)
- ③キャリア教育~中学校教諭が6年生に授業

(4) 西の里中学校区

- ①道徳、キャリア教育の9年間を見通した指導計画の作成・実施
- ②小学校体育授業で中学校体育科教師の専門性を生かす指導(外国語活動も)
- ③算数(数学)、総合的な学習の学習内容の交流と検討

(5) 広葉中学校区

- ①年4回の小中一貫教育推進委員会の実施(校長、教頭、教務、指導、研究)
- ②参観日、研修日の相互参観(授業反省にも参加)
- ③小学校高学年における教科担任制の更なる充実

(6) 緑陽中学校区

- ①体力テストの9年間連続した取組
- ②小中で連携した生活指導(長期休業前など)
- ③小中PTA、健連協合同の地域交流会

3. 講評(小島推進準備委員長)

- ・今後も本日のような中学校区での話し合いを積み重ねることが大切である。
- ・上から与えられたものと捉えず、各中学校区で自分たちのこととして取り組む姿勢が必要である。

